

ウィキペディア

ナポリ

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

ナポリ（伊: **Napoli** (🔊 音声ファイル); ナポリ語: Napule）は、イタリアの南部にある都市。その周辺地域を含む人口約97万人の基礎自治体（コムーネ）。カンパニア州の州都であり、ナポリ県の県都でもある。ローマ、ミラノに次ぐイタリア第三の都市で、南イタリア最大の都市。都市圏人口は約300万人。

ナポリ湾に面した港湾都市・工業都市である^[4]。古代ギリシア人によって建設された植民市に起源を持ち、13世紀以降はナポリ王国の首都として南イタリアの政治・経済の中心地となった^[4]。ヴェスヴィオ火山を背景とする風光明媚な景観^[4]で知られる観光都市であり、「ナポリを見てから死ね (vedi Napoli e poi muori)」^[注釈 1]と謳われる^[4]。旧市街地は「ナポリ歴史地区」として世界遺産に登録されている。ナポリ周辺にも、ヴェスヴィオ火山やポンペイの遺跡、カプリ島などの観光地を有する。

目次

名称

地理

位置・広がり

隣接コムーネ

気候

歴史

社会

社会問題

ごみ問題

健康被害

観光

交通

文化

食文化

スポーツ

サッカー

姉妹都市

人物

著名な出身者

ゆかりの人物

色名

注釈

出典

参考文献

関連項目

外部リンク

名称

「ナーポリ」とも表記される。

地元で話されるナポリ語での名称はナープラ（Napule）。

ナポリ

Napoli



旗



紋章

行政

国

 イタリア

州

 カンパニア

県／大都市

 ナポリ

CAP（郵便番号）

80100

市外局番

081

ISTATコード

063049

識別コード

F839

分離集落

隣接コムーネ

#隣接コムーネ参照

地震分類

zona 2 (sismicità media)

気候分類

zona C, 1034 GG

公式サイト

リンク (http://www.comune.napoli.it/)

人口

人口

966,144 ^[1] 人 (2018-01-01)

人口密度

8,238.6 人/km²

文化

住民の呼称

napoletani

守護聖人

聖ジェンナーロ (San Gennaro)

祝祭日

9月19日

地理

座標

北緯40度50分0秒 東経14度15分0秒

標高

17 (0 - 457) ^[2] m

面積

117.27 ^[3] km²

ラテン語名はNeapolis（ネアポリス＝「新しい街」の意味）、英語名はNaples（ネイプルズ）。

地理



ナポリ県概略図

隣接コムーネ

隣接するコムーネは以下の通り。

- ポッツォーリ - 西
- クアルト - 西
- マラーノ・ディ・ナーポリ - 北西
- ムニャーノ・ディ・ナーポリ - 北西
- メリート・ディ・ナーポリ - 北西
- カザンドリーノ - 北
- アルツァーノ - 北
- カザヴァトーレ - 北
- カゾーリア - 北
- ヴォッラ - 北東
- チェルコラ - 東
- サン・セバスティアーノ・アル・ヴェズーヴィオ - 東
- サン・ジョルジョ・ア・クレマーノ - 南東
- ポルティチ - 南東

気候

気候はケッペンの気候区分で地中海性気候 (Csa) と温暖湿潤気候 (Cfa) の間で、夏は暑くやや乾燥し、冬は寒く湿度がある。平均最高気温は5〜10月が最高20〜30℃、11月〜4月が20〜13℃。

ナポリの気候													
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年
平均最高気温 °C (°F)	13.0 (55.4)	13.5 (56.3)	15.7 (60.3)	18.1 (64.6)	23.0 (73.4)	26.7 (80.1)	29.9 (85.8)	30.3 (86.5)	26.9 (80.4)	22.1 (71.8)	17.1 (62.8)	14.1 (57.4)	20.8 (69.4)
日平均気温 °C (°F)	8.7 (47.7)	8.8 (47.8)	11.1 (52)	13.2 (55.8)	17.8 (64)	21.4 (70.5)	24.3 (75.7)	24.7 (76.5)	21.4 (70.5)	17.1 (62.8)	12.4 (54.3)	9.8 (49.6)	15.9 (60.6)
平均最低気温 °C (°F)	4.4 (39.9)	4.5 (40.1)	6.3 (43.3)	8.4 (47.1)	12.6 (54.7)	16.2 (61.2)	18.8 (65.8)	19.1 (66.4)	16.0 (60.8)	12.1 (53.8)	7.8 (46)	5.6 (42.1)	11.0 (51.8)
降水量 mm (inch)	104.4 (4.11)	97.9 (3.854)	85.7 (3.374)	75.5 (2.972)	49.6 (1.953)	34.1 (1.343)	24.3 (0.957)	41.6 (1.638)	80.3 (3.161)	129.7 (5.106)	162.1 (6.382)	121.4 (4.78)	1,006.6 (39.63)
平均降水日数 (≥1.0 mm)	9.9	9.8	9.5	8.8	5.7	4.0	2.3	3.8	5.8	8.1	10.8	10.7	89.2
平均月間日照時間	114.7	127.6	158.1	189.0	244.9	279.0	313.1	294.5	234.0	189.1	126.0	105.4	2,375.4
出典： World Meteorological Organization ^{[6]}													

歴史

ナポリ市は、紀元前6世紀に古代ギリシア人（特にアテネ人）の植民活動によって建市されたと考えられている。「ナポリ」の語源はギリシア語の「ネアポリス」（新しいポリス）であり、最初に建設された植民都市パルテノペから数キロはなれた場所に新しく建設された町という意味である。その後、ナポリは長くローマ帝国の支配下にあったが、476年の西ローマ帝国滅亡後、南イタリアは東ゴート族やランゴバルド族の支配が及ぶなど流動的な状況となった。



6世紀になると、東ローマ帝国のユスティニアヌス1世がイタリアの再征服に乗り出し、イタリア半島はラヴェンナを首府とする東ローマ帝国の属州となった。ナポリ市には660年に東ローマ系の公国が設置されている。

11世紀にはノルマン人が南イタリアに到来し、イスラム教徒が支配するシチリア島を征服してシチリア王国（オートヴィル朝）を建国するが、ノルマン人の支配は南イタリアでも拡大され、ナポリ公国も1140年ノルマン人の手に落ちた。12世紀にはシチリア王国は婚姻関係によってホーエンシュタウフェン家の神聖ローマ皇帝の支配に移った。1224年には異色の皇帝フェデリーコ2世（神聖ローマ皇帝フリードリヒ2世）がナポリ大学を設立した。

フランスの王族シャルル・ダンジューによりホーエンシュタウフェン家のシチリア支配が断絶すると、ローマ教皇クレメンス4世は1266年、シチリア王国をシャルル・ダンジューにあてがい、アンジュー家は王国の首都をバレルモからナポリに遷都した。しかし1284年、シチリアの晩鐘事件を契機にシチリア島で反乱が起けると、アラゴン王ペドロ3世がシチリアを占領するが、ナポリを中心とする南イタリアはアンジュー家が依然として押さえていたので、王国は2つに分割された。2つの王国は共に「シチリア王国」を公称していたが、この時にナポリ王国が成立したと見ることができる。

トラスタマラ家のアラゴン王アルフォンソ5世はシチリア王を兼ねていたが、内紛続きのナポリ王国を征服して、1443年にナポリ入りし、2つの「シチリア王国」の王を兼ねた。アルフォンソはアラゴン王であるにもかかわらず、ナポリに長く滞在して統治した。1458年のアルフォンソの死後は私生児のドン・フェランテがフェルディナンド1世としてナポリ王位のみを継承するが、失地回復をめざすフランス・ヴァロワ朝のシャルル8世がこれにつけ込んで、1494年にナポリを武力占領した。これに対してスペイン（カスティーリャ＝アラゴン連合王国）から派遣されたコルドバ将軍は、1503年にナポリを征服し、フランス軍を南イタリアから追放した。ナポリ王家は取り潰され、スペインのナポリ総督によって支配される属州となった。

スペイン継承戦争（1701年 - 1714年）のさなか、1707年にオーストリア・ハプスブルク家の軍隊がナポリに入城し、スペインの総督は追い払われた。オーストリアの支配は1734年まで続く。ポーランド継承戦争が起けると、フランス・ブルボン家はスペイン・ブルボン家の支援を求め、1734年にスペイン王子でもあるバルマ公ドン・カルロスがナポリに入城してナポリ王カルロ7世として即位、シチリアも回復した。カルロスは1759年にスペイン王カルロス3世として即位した際、ナポリ王位を息子のフェルディナンド4世に譲った。この1734年をもって両シチリア王国の成立とする見方もある。ただこの時は正式名称としては使用されなかった。

ナポレオン戦争の間、ナポリ王フェルディナンドはナポリから追放され、シチリアを領有するのみとなった。ナポリは1806年から1815年にかけてナポレオン・ボナパルトの兄ジョゼフ、次いで妹婿のミューラを王に戴くことになる。1816年にフェルディナンドがナポリとシチリアの王として返り咲くと、間もなく国名を正式に両シチリア王国とした。1860年、両シチリア王国はジュゼッペ・ガリバルディに征服され、翌1861年に成立するイタリア王国に併合された。

第二次世界大戦中、イタリアの敗色が濃厚となる1943年9月9日頃、イギリス軍がナポリに上陸作戦を敢行。上陸を阻止しようとするドイツ軍との間で激しい交戦が行われた^[7]。同年10月1日までにドイツ軍は撤退し、連合国軍がナポリに進駐した^[8]。

1995年、世界遺産（文化遺産）『ナポリ歴史地区』として登録された。

社会

社会問題

古くから過密が社会問題になっている。

イタリア以外の外国人が想像する輝く太陽と温暖な気候、陽気な人々というイタリアのイメージは、この都市が元になっている。その一方で、今日でもナポリを拠点とするマフィア・カモッラによる影響が強い都市である。

ごみ問題

2007年以降、ナポリではごみの増大に処理場の増設（1994年以降、数回造成されている^[9]）が追いつかず、街中に未回収のごみが散乱する状態が度々起っている^[10]。

ごみが散乱する理由として、マフィアによるごみの不法投棄が挙げられる。1980年代からマフィアがナポリにイタリア北部から運んできた産業廃棄物を埋め始め、この頃からマフィアにとってごみ関連ビジネスが麻薬密売に次ぐ収入源となった。環境アナリストによると、違法ごみビジネスによって、マフィアは年間25億ユーロにも上る収益を得ているという^{[11][12]}。

健康被害



ウンベルト1世のガッレリア
19世紀の建築で、高さ58mのガラス天井を備える



ナポリの街並みとナポリ湾



セバスチアーノ通り



ナポリ大聖堂

イタリアの研究機関による調査で、ナポリ近郊では他の地域と比べてガンの発生率が上昇していることが判明した。これはカモッラが1980年代からゴミ処理ビジネスに参入し、有害物質を含むゴミを不法投棄したことが関連しているという。特にナポリ県北部はナポリ湾などの主要な観光地の近辺であるにもかかわらず、不法な焼却や投棄が続けられた結果、地元が「死の三角形(Triangle of Death)」と呼ばれるほど環境が悪化している^[13]。

観光

「世界三大美港」の一つとされることがある^[14]。また、日本では「世界三大夜景」の街の一つともされる。

建築物

- ナポリ歴史地区
 - ナポリ大聖堂
 - パラッツォ・レアーレ・ディ・ナーポリ
 - 卵城
 - ヌオーヴォ城
- サン・カルロ劇場

博物館、美術館

- ナポリ国立考古学博物館
- カポディモンテ美術館

遺跡

- ポンペイ

自然

- ヴェスヴィオ山



ナポリのパノラマ 右にヴェスヴィオ山

交通

- ナポリ中央駅
- ナポリ地下鉄
- ナポリ・カポディキーノ国際空港

文化

食文化

- ピザ（ピッツァ）の起源はアラブ圏のパンの一種ピタがナポリに伝わり、ナポリでピッツァと呼ぶようになったこととされる。ナポリピッツァの代表がマルゲリータである。これは統一イタリア王国のマルゲリータ王妃が1889年6月ナポリ来訪の折、ブランディという店がイタリアの三色旗を模してトマト（赤）バジリコ（緑）モッツアレラチーズ（白）で生地を飾って捧げたことに由来する。2017年12月7日には、ナポリのピッツァイオーロ（ピザ職人）の技がユネスコの世界無形文化遺産に登録されることが決定した^[15]。
- スフォリアテッレ ナポリ名物の焼き菓子。
- なお、日本で見られるパスタ料理の「ナポリタン」は日本生まれの洋食（和製洋食）であり、ナポリが発祥ではない。



ヌオーヴォ城 13世紀の建築



卵城

- ルッジェーロ・レオンカヴァッロ - 作曲家
- ドメニコ・スカルラッティ - 作曲家
- ニコラ・ポルポラ - 作曲家
- サルヴァトル・ローザ - 作曲家、画家
- アルド・チッコリーニ - ピアニスト
- ダニエレ・セーペ - 音楽家
- フェデリーコ・デ・ロベルト - 小説家
- マリオ・ヴァレンティーノ - ファッションデザイナー、及びそのブランド
- ラウラ・アントネッリ - 女優。幼少期以降、ナポリに居住。
- ソフィア・ローレン - 女優。ローマ生まれ、幼少期以降の育ちはナポリ近郊ポッツォーリ。
- セルジョ・ベンヴェヌート - 精神分析学者

ゆかりの人物

- アル・カポネ - マフィア。ナポリ移民の家に生まれた。
- パンツェッタ・ジローラモ - 日本のタレント。少年時代にSSCナポリに在籍。アヴェッリーノ県出身。

色名

- ネイプルスイエロー - ナポリの黄色という意味。世界の伝統色のひとつ。ウェブカラーでは16進 - #fdd35c、10進 - R:253 G:211 B:92。

注釈

1. [^] 日本のことわざでいうところの「日光を見ずに結構と言うな」

出典

1. [^] 国立統計研究所（ISTAT） . “Total Resident Population on 1st January 2018 by sex and marital status (http://demo.istat.it/pop2018/index1_e.html)” (英語). 2019年2月2日閲覧。

2. [^] 国立統計研究所（ISTAT） . “Tavola: Popolazione residente - Napoli (dettaglio loc. abitate) - Censimento 2001. (<http://dawinci.istat.it/daWinci/jsp/MD/dawinciMD.jsp?a1=m0GG0c0I0&a2=mG0Y8048f8&n=1UH90T07S25&v=1UH07B07T150000>)” (イタリア語). 2013年10月3日閲覧。

3. [^] 国立統計研究所（ISTAT） . “Tavola: Superficie territoriale (Kmq) - Napoli (dettaglio comunale) - Censimento 2001. (<http://dawinci.istat.it/MD/dawinciMD.jsp?a1=m0I040WI0&a2=mG0y8048f8&n=1UH90007S04&v=1UH0D807T140000>)” (イタリア語). 2013年10月3日閲覧。

4. [^] 堺憲一. “ナポリ (<https://kotobank.jp/word/ナポリ-108430>)”. 日本大百科全書ニッポニカ（コトバンク所収）. 2016年4月20日閲覧。

5. [^] “地図上で2地点の方角・方位、距離を調べる (http://www.benricho.org/map_hougaku/)”. 2016年4月20日閲覧。
6. [^] “Weather Information for Naples (<https://web.archive.org/web/20121105145214/http://www.worldweather.org/176/c00604.htm>)”. World Meteorological Organization (2011年6月). 2012年11月5日時点のオリジナル (<http://www.worldweather.org/176/c00604.htm>)よりアーカイブ。2012年9月7日閲覧。

7. [^] 米・英軍、ナポリに上陸（昭和18年9月11日 毎日新聞（東京・夕刊））『昭和ニュース辞典第8巻 昭和17年/昭和20年』p407 毎日コミュニケーションズ刊 1994年

8. [^] 連合軍、ナポリを占領（昭和18年10月3日 朝日新聞（夕刊））『昭和ニュース辞典第8巻 昭和17年/昭和20年』p408

9. [^] “ナポリの未回収ごみ問題、混迷極める” (<http://www.afpbb.com/article/environment-science-it/environment/2333487/2504001>). AFP. (2008年1月7日) 2011年8月22日閲覧。

10. [^] “ナポリでまたごみ問題 処理場不足、2千トン路上に” (<http://www.47news.jp/CN/201104/CN2011040901000063.html>). 共同通信. (2011年4月9日) 2011年8月22日閲覧。

11. [^] ナポリの未回収ごみ問題に見るマフィアのごみビジネスの現状 (<http://www.afpbb.com/articles/-/2334611>) AFP 2008年1月10日

12. [^] 伊ナポリのごみ不法投棄、健康被害深刻 「死の三角地帯」 (<http://www.afpbb.com/articles/-/3003895>) AFP 2013年11月24日

13. [^] ^{イナポリのごみ不法投棄、健康被害深刻} 「死の三角形」 (http://rdsig.yahoo.co.jp/_ylt=A7YWNCVtBJJSzj0BvLEA (http://www.afpbb.com/articles/-/3154624?cx_infinite=1) AFP (2017年12月8日) 2017年12月14日閲覧

AAAA/RV=1/RE=1385387501/RH=cmRzaWcueWFob28uY28uanA-/RB=IKEee42oCjtOoYChsw.E2wvPiNc-/RU=aHR0cDovL2h1YWRSaW5lcy55YWVhby5jb55qcC9obD9hPTIwMTMxMTI0LTAwMDAwMDM1LWppal9hZnAtZW52/RS=%5EADAUi1cCqiU7xP4TnDC1.CjV77H5Ok-)

14. [^] ^{*a b c*} “ナポリ市（イタリア） (http://www.city.kagoshima.lg.jp/_1010/shimin/7siseijouhou/7-8kouryu/7-8-1sima (http://www.afpbb.com/articles/-/3154624?cx_infinite=1) AFP (2017年12月8日) 2017年12月14日閲覧

ma.lg.jp/_1010/shimin/7siseijouhou/7-8kouryu/7-8-1simaitosi/0003582.html)” 鹿児島市. 2013年10月1日閲覧。

15. [^] ^{*a b*} “姉妹（友好）提携情報 (https://web.archive.org/w (http://www.afpbb.com/articles/-/3154624?cx_infinite=1) AFP (2017年12月8日) 2017年12月14日閲覧

eb/20121027200400/http://www.clair.or.jp/cgi-bin/simai/j/00.cgi)” 自治体国際化協会. 2012年10月27日時点のオリジナル (http://www.clair.or.jp/cgi-bin/simai/j/00.cgi) よりアーカイブ. 2013年10月1日閲覧。

16. [^] ^{*a b*} “日本・イタリア間で提携された姉妹都市（リスト） (http (http://www.afpbb.com/articles/-/3154624?cx_infinite=1) AFP (2017年12月8日) 2017年12月14日閲覧

s://www.it.emb-japan.go.jp/nihongo/nikokukankankei/shimaitoshi.htm)” 在イタリア日本国大使館. 2013年10月1日閲覧。

参考文献

- 澤井繁男「ナポリの肖像　血と知の南イタリア」中公新書（2001年）、書籍情報: ISBN 4-12-101609-2

関連項目

- ナポリの地区
- 世界遺産の一覧 (ヨーロッパ)
- ナポリとシチリアの君主一覧
- ナポリ (パレエ)
- ヴェスヴィオ火山
- ジョジョの奇妙な冒険Parte5 黄金の風 - 主人公ジョルノ・ジョバァーナの出身地及び本編開始時の居住地である。
- 王様の仕立て屋〜サルト・フィニート〜
- ネイブルズ

外部リンク

公式

- Comune di Napoli - Home (https://www.comune.napoli.it) ナポリ市公式サイト （イタリア語） （英語）

観光

- INAPLES - Azienda Autonoma di Soggiorno Cura e Turismo di Napoli (http://www.inaples.it/giap/home.asp) ナポリ観光協会労働組合 （日本語）
- イタリア政府観光局 - ナポリ (https://visitaly.jp/region/campania-napoli/) （日本語）
- Panorama of Naples by Google Earth (https://web.archive.org/web/20060422084545/http://www.appartamentiisc (http://www.afpbb.com/articles/-/3154624?cx_infinite=1) AFP (2017年12月8日) 2017年12月14日閲覧 hia.it/Panorama_of_Naples.htm)

「https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=ナポリ&oldid=89102754」から取得

最終更新 2022年4月18日 (月) 12:37（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。

https://ja.wikipedia.org/wiki/ナポリ

7/7